

単元名 Unit 6 Let's think about our food.

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表する語句や表現を身に付けるとともに、活字体の大文字・小文字を理解することができる。
- (2) 食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表する目的や場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして、発表することができる。
- (3) 他者に配慮しながら、主体的に、食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表するとともに、英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとする。

標準的な展開例

06160308_000

【準備等】デジタル教科書、大型テレビ、教師用絵カード、ワークシート、振り返りシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Starting Out (1)</p> <p>○ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Sing "What did you eat?" ・Let's Chant "Are you hungry?" ・Small Talk <p>"What do you usually have for breakfast?"</p> <p>★登場人物が食べたものについて、およその内容を聞き取ろう。</p> <p>○Word Link 食べ物 PD(P.8)</p> <p>○Let's Try 1 ワードゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PD(P.8)の単語でミッシングゲームをする。 <p>○Starting Out 登場人物が食べたものを聞いて、聞き取れたことを書く。</p> <p>○Let's Read and Write 1 I ate curry and rice last night.</p> <p>○Sounds and Letters 音つなぎ⑥ (P.93)</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>2 Starting Out (2)</p> <p>○ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Sing "What did you eat?" ・Let's Chant "Are you hungry?" <p>★登場人物が食べたものを聞いて、聞き取ったことを発表しよう。</p> <p>○Word Link 食事 PD(P.11)</p> <p>○Let's Try 1 ワードゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PD(P.11)の単語でミッシングゲームをする。 <p>○Starting Out 登場人物が食べたものを聞いて、聞き取れたことを書く。</p> <p>○Let's Read and Write 2 I usually eat beef curry at home.</p> <p>○Sounds and Letters 音つなぎ⑦ (P.93)</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>3 Your Turn (1)</p> <p>○ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Sing "What did you eat?" ・Let's Chant "Are you hungry?" ・Small Talk "What did you eat last night?" <p>★ポイントアンドセイゲームをし、食べ物についてたずね合おう。</p> <p>○Word Link 食材 PD(P.22)</p> <p>○Let's Listen 1 教科書の空欄に巻末絵カードを置いて文を作る。</p> <p>○Let's Try 2 食べ物の表現を使って友達とポイントア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業の雰囲気づくりをする。 ・最初は聞くだけとし、数回流す。 ・音声を聞かせ、内容について質問する。 ・PD(P.8)を参照させ、主な食べ物などを確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・音声を使った単語を改めて確認させる。 ・ミッシングゲームについては、U3 第1時の「留意事項など」を参照する。 ・絵を見てどのような内容か事前に予想させてもよい。 ・通して聞かせ、大まかな内容をつかませながらメモさせる。 ・もう一度聞かせ、聞き取れたことを発表させる。 <p>【評】登場人物が食べたものの聞き取りを通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めに音声を聞かせ、声に出して読む練習を十分にしてから書かせる。 ・音声を聞いて文字を書かせる。音と文字を結びつけるよう意識させる。 ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業の雰囲気づくりをする。 ・指導者も児童と一緒に歌う。 ・チャンツを流し一緒に言う。 <ul style="list-style-type: none"> ・音声を使った、食事の単語を改めて確認させる。 ・ミッシングゲームについては、U3 第1時の「留意事項など」を参照する。 ・聞き取りの観点を示したワークシートを準備する。 ・繰り返し聞かせ、普段食べているものを紹介するのに必要な表現に気付かせる。 <p>【評】登場人物の食べたものの聞き取りを通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めに音声を聞かせ、声に出して読む練習を十分にしてから書かせる。 ・音声を聞いて文字を書かせる。音と文字を結びつけるよう意識させる。 ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業の雰囲気づくりをする。 ・指導者も児童と一緒に歌う。 ・チャンツを流し一緒に言う。 ・PD(P.8)を参照させ、主な食べ物を確認させてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・音声を使った、食材の単語を確認させる。 ・教科書の空欄に巻末絵カードを置いて文を作り、繰り返し練習させる。 ・教科書 (P.56～57) を参照させる。

ンドセイゲームをする。
A:Where is the beef from?
B:The beef is from Australia.

- Let's Read and Write 3
The beef is from Australia.
- Sounds and Letters 音つなぎ⑧ (P.93)

○本時の学習を振り返る。

4 Your Turn (2)

- ウォームアップ
 - ・Let's Sing "What did you eat?"
 - ・Let's Chant "Are you hungry?"

★食べ物がどの栄養素のグループに分けられるのかを考えよう。

- Word Link 果物・野菜 PD(P.10)

- Let's Listen 2 食べ物がどの栄養素のグループに分けられるのかを聞いて、カードを置いたり、4線の上に書いたりする。

- Let's Try 3 絵カードをシャッフルし、めくった食べ物カードがどの栄養素に分類できるのかを友達とペアで尋ね合う。
A:Beef is in the red group.
B:Bread is in the yellow group.
- Let's Read and Write 4 Beef is in the red group.

- Sounds and Letters 音つなぎ⑨ (P.93)

○本時の学習を振り返る。

5 Enjoy Communication (1)

- ウォームアップ
 - ・Let's Sing "What did you eat?"
 - ・Let's Chant "Are you hungry?"
 - ・Small Talk "How much is it?"

★「オリジナルカレーメモ」を使って、オリジナルカレーを紹介する練習をしよう。

- Step 1
 - (1) 例文を音声で聞いた後、声に出して読む。
 - (2) P.88の「わたしのセリフ」を声に出して読む。
 - (3) 友達と教科書を交換して、「友達のせりふ」を声に出して読む。

- Step 2
 - (1) 「わたしのセリフ」をふくらませる。
 - (2) オリジナルカレーメモを完成させる。
 - (3) ペアで発表練習をする。

- Sounds and Letters 音つなぎ⑩ (P.94)

○本時の学習を振り返る。

6 Enjoy Communication (2)

- ウォームアップ
 - ・Let's Sing "What did you eat?"
 - ・Let's Chant "Are you hungry?"

★「オリジナルカレーメモ」を使って、オリジナルカレーについて発表しよう。

- Step 3
 - (1) グループを作り、「オリジナルカレーメモ」を参考に、食材を決める。
 - (2) グループでどのように発表するかを決める。
 - (3) カレーショップと客のグループに分かれる。

- ・ポイントアンドセイゲーム
友達が発話した単語を指で指させる。
ペアで競争させる。
友達が示す単語を発音させる。
できるだけたくさんのかを伝えられることを目標とする。

- 【評】食べ物について尋ね合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・初めに音声を聞かせ、声に出して読む練習を十分にしてから書かせる。
- ・音声を聞いて文字を書かせる。音と文字を結びつけるよう意識させる。
- ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

- ・英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・指導者も児童と一緒に歌う。
- ・チャンツを流し一緒に言う。

- ・音声を使って、果物・野菜の単語を確認させる。
- ・複数回聞かせ、分かるところから徐々に理解できるようにさせる。
- ・何度も音声で聞いて、慣れ親しませる。
- ・家庭科で学んだ知識とも関連付けながら考えさせる。
- ・家庭科の教科書などを参照させてもよい。
- 【評】食べ物がどの栄養素のグループに分けられるのかを考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・初めに音声を聞かせ、声に出して読む練習を十分にしてから書かせる。
- ・音声を聞いて文字を書かせる。音と文字を結びつけるよう意識させる。
- ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

- ・英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・指導者も児童と一緒に歌う。
- ・チャンツを流し一緒に言う。
- ・PD(P.8)を参照させ、主な食べ物や値段を確認させる。

- ・オリジナルカレーを紹介する核となる部分なので、何度も音声で表現に慣れ親しませる。

- ・Let's Read and Writeで書きためた文を参照させる。
- ・教科書のヒントを手がかりにさせる。
- ・巻末コミュニケーションカードを切り取って使用させる。
- ・オリジナルカレーメモを見せ合いながら行わせる。

- 【評】オリジナルカレーメモの内容を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・音声を聞いて文字を書かせる。音と文字を結びつけるよう意識させる。
- ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

- ・英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・指導者も児童と一緒に歌う。
- ・チャンツを流し一緒に言う。

- ・P.55の目標が達成できるように練習させる。

- ・「話すときに工夫したこと」「聞くときに工夫したこと」を記入させる。
- ・使い終わった「オリジナルカレーメモ」を教

(4)「カレーショップの店員役」はオリジナルカレーを発表し、「客役」はどのグループのカレーを食べたいかを話し合う。

○ Sounds and Letters Quiz⑩ (P.94)

○ 本時の学習を振り返る。

7 Over the Horizon (1)

○ ウォームアップ

- ・ Let's Sing "What did you eat?"
- ・ Let's Chant "Are you hungry?"
- ・ Small Talk "Where is it from?"

★外国から来る食べ物について考えよう。

○ Do you know? 日本と世界の食料事情を調べて、できることを考える。

- (1) 日本の食材ごとの食料自給率を調べて () に書く
- (2) 日本の自給率の答えを予想し、答えを□に書く。
- (3) クイズの答え合わせをする。
- (4) 世界の食料事情を知る。

○ Challenge 地元でとれる食材を使った地産地消カレーを考えよう。

Let's eat beef tongue curry.

The beef is from Miyagi.

○ Sounds and Letters Quiz⑪ (P.94)

○ 本時の学習を振り返る。

8 Over the Horizon (2)

○ ウォームアップ

- ・ Let's Sing "What did you eat?"
- ・ Let's Chant "Are you hungry?"

★漢字の熟語が英語でどのような表現になるのかを考えよう。

○ ことば探検 漢字の熟語の英語表現を考える。

- (1) 英語でどのような表現になるのかを想像する。
- (2) 答え合わせをする。
- (3) 気付いたことを書く。

○ 世界のすてき Switzerland 旅の案内を聞く。

- (1) Switzerlandの紹介を聞いて、およその内容を理解する。
- (2) 分かったことを記入し発表する。

○ Sounds and Letters Quiz⑫ (P.94)

○ 本時の学習を振り返る。

科書P. 61に貼らせる。

【評】オリジナルカレーについての発表を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】オリジナルカレーについての発表を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・ 音声を聞かせ、絵に合う文字を線で結ばせ、答え合わせをした後、声に出して練習させる

・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

・ 英語の授業の雰囲気づくりをする。

・ 指導者も児童と一緒に歌う。

・ チャンツを流し一緒に言う。

・ PD(P.16)を参照させ、その国で有名な食べ物などを確認させる。

【評】外国から来る食べ物について考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・ Do you know?で考えたこともヒントにさせる

・ 音声を聞かせ、絵に合う文字を線で結ばせ、答え合わせをした後、声に出して練習させる

【評】アルファベットの音を聞いて、音に合う絵を選ぶ活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

・ 英語の授業の雰囲気づくりをする。

・ 指導者も児童と一緒に歌う。

・ チャンツを流し一緒に言う。

・ Do you know?で学んだこともヒントにさせる

【評】漢字熟語の英語表現を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・ 全体を通して聞かせた後、ヒントを与えたり複数回聞かせたりして、徐々に理解できるようにさせる。

・ 音声を聞かせ、絵に合う文字を線で結ばせ、答え合わせをした後、声に出して練習させる

【評】アルファベットの音を聞いて、音に合う絵を選ぶ活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

【 備 考 】

※7, 8時間目のOver the Horizonを1時間完了とし、余剰時間を3, 4時間目のEnjoy Communicationの活動の充実にあてたり、パフォーマンステストや単元のまとめテストを実施したりしてもよい。

※言語材料

- ・ I ate ... last night.
- ・ I usually eat ... at home.
- ・ ... is from ...
- ・ ... is in the ... group.